

令和4年度 第1回学校適正配置検討委員会 会議記録（要旨）

日時 令和4年8月29日（月） 午前9時30分～午前11時50分

場所 仙北市西木総合開発センター集会室

出席 出席委員18名（欠席委員0名）

1 開会

2 委嘱状交付

3 仙北市教育長あいさつ

4 委員・事務局紹介

5 議 題

（1）委員長・副委員長の選出

委員長に鎌田信委員（秋田大学教育文化学部教授）、副委員長に佐藤彰久委員（角館高等学校校長）を選任した。

（2）現状と課題について（説明）

～事務局説明～

委員	仮に長寿命化改修を実施する場合、どの位の耐用年数となるのか。
事務局	改修後、30～40年使用できることを想定している。

（3）これまでの取り組みについて（説明）

～事務局説明～

委員	角館小と中川小は統合して良かったという意見が多い。一方で、桧木内中と西明寺中の統合に関しては反対意見が多く存続しているが、どのような意見だったのか。
事務局	学校は地域の核となる施設であり、学校が無くなると地域の衰退が加速するという懸念の声や、子どもが少なくても良さがあるとして、統合よりも存続を望む意見が多かった。

（4）学校適正配置に関する意見交換会の結果について（説明）

～事務局説明～

委員	意見交換会の参加人数が少ないと感じる。議論を交わし合える機会を増やし、様々な意見を出してもらうことが必要で、できるだけ保護者などが参加しやすいように開催して欲しい。
事務局	今後、各学校のPTAで時間をいただくなどして意見交換の機会を設けたい。PTAや保護者会等で勉強会等を行う場合に教育委員会職員の参席要望があれば応じていく。

(5) 今後の進め方について(説明)

～事務局説明～

委員	今年度内に策定する学校適正配置方針に、どのような内容を盛り込む予定か。
事務局	現状と課題、目指す学校像の基本理念、望ましい学教教育環境、適正な規模や配置及び配慮すべき事項などを盛り込みたい。また、令和8年度までに策定する学校適正配置計画には、これに加え個別具体的な方策を盛り込むことを想定している。

(6) アンケートの実施計画について

～事務局説明～

委員	アンケートと合わせて、児童生徒数の減少予測などを市民に知ってもらうために、現状と課題の説明資料を添付した方が良い。小・中学生のほかに高校生にも実施してはどうか。
事務局	説明資料を添付する。角館高校2年生には別途アンケートを予定している。先日開催した「二十歳の集い」において参加者にアンケートを実施したところ、将来の学校に望む教育方針は切磋琢磨、多様性の回答が多かった。
委員	楡木内中と西明寺中の統合に関しては、学校は地域の核として無くしたくないという思いや、地域にとって学校の役割を住民がどう感じているかが反対意見の中心だったように思う。 将来像を考える際、学校が地域社会にどんな役割を持っているかなどの意見を問えば、検討の参考になると思う。
事務局	設問を追加することを検討する。

(7) その他

～特になし～

6 その他

7 閉会